

令和5年度 学校評価

1. 生徒集計(12/8)
2. 保護者集計(12/26～1/18)
3. 職員集計(12/8～12/27)
4. 学校運営協議会委員集計(1/30～2/20)

令和5年度 学校評価(生徒用)集計

・実施日：令和5年12月
 ・集計数：63 1年次 24 2年次 21 3年次 18 (未実施 2)
 ・回答方法：4段階評価 (4:十分 3:おおむね 2:不十分 1:まったく 空白:わからない)
 ・評価方法：4段階評価の数値を利用

昨年よりプラス評価の項目

1. 学校生活全般について

		十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R5 平均	R4 平均
(1) 挨拶や礼儀ができた	全員	26	31	6	0	0	3.32	3.26
(2) 正しい言葉遣いができた	全員	20	30	11	2	0	3.08	3.04
(3) 化粧や装飾品等をせず身だしなみを守ることができた	全員	40	17	4	2	0	3.51	3.46
(4) 正しい服装・頭髪で生活できた	全員	31	28	3	1	0	3.41	3.40
(5) 規則正しい生活習慣が身についた	全員	28	23	9	3	0	3.21	3.14
(6) クールビズの導入は効果的であった	全員	44	14	4	1	0	3.60	3.67
(7) 学校の物を大切にすることができた	全員	43	19	0	1	0	3.65	3.65
(8) 仲間と良好な関係を作ることができた	全員	33	23	5	2	0	3.38	3.37
(9) 学校のルールを守ることができた	全員	31	29	2	1	0	3.43	3.51
(10) 清掃活動に意欲的に参加した	全員	25	31	6	1	0	3.27	3.39
(11) 個人面談の時期及び回数は適切であった	全員	37	21	3	2	0	3.48	3.44
(12) 先生は自分の個性を認めて指導してくれていると感じる	全員	33	21	6	3	0	3.33	3.18
(13) 地域の方々に迷惑をかけずに行動できた	全員	38	23	1	1	0	3.56	3.49
(14) 普段から交通安全を意識した生活を送ることができた	全員	37	25	0	1	0	3.56	3.54

2. 学校活動について

		十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R5 平均	R4 平均
(1) 学校内においてそれぞれの役割を持ち活動ができた	全員	33	27	1	2	0	3.44	3.49
(2) 剣友会行事や農業クラブ行事に意欲的に参加することができた	全員	30	22	9	2	0	3.27	3.23
(3) 委員会活動に積極的に取り組むことができた	全員	31	20	9	3	0	3.25	3.42
(4) 行事を通してクラスの団結力を身につけることができた	全員	33	21	6	3	0	3.33	3.07
(5) 地域との交流を行うことができた	全員	29	22	6	6	0	3.17	3.14

3. 学習全般について

		十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R5 平均	R4 平均
(1) 目標を持って学習に取り組み、学習内容を身につけることができた	全員	25	26	9	3	0	3.16	3.02
(2) 基礎基本の学力向上に力を入れて取り組むことができた	全員	25	27	9	2	0	3.19	3.09
(3) 授業準備をしっかりと行い、正しい態度で授業にのぞめた	全員	19	25	14	5	0	2.92	3.04
(4) 緊張感を持って授業や講習・補習に取り組んだ	全員	19	31	8	5	0	3.02	3.00
(5) 必要に応じて先生が2人授業につくことは効果的であった	全員	27	25	5	6	0	3.16	3.07
(6) 資格取得への取り組みを積極的に行えた	全員	19	25	14	5	0	2.92	2.74
(7) 様々な活動で図書室が有効に活用されていた	全員	18	23	12	10	0	2.78	2.77
(8) 視聴覚の機材が有効的に活用されている	全員	18	31	6	8	0	2.94	2.95
(9) コンピュータ室の使用方法を守ることができた	全員	44	17	0	2	0	3.63	3.74
(10) 剣高だよりを読んでいる	全員	10	20	17	16	0	2.38	1.91
(11) 学校HPを見たことがある	全員	29	14	10	10	0	2.98	2.81

4. 専 門 学 習 に つ い て

		十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R5 平均	R4 平均
(1) 課題を見つけて積極的に農業や福祉の学習活動に取り組んだ	全員	30	23	5	5	0	3.24	3.25
(2) 進路を見据えた学習を行うことができた	全員	29	22	9	3	0	3.22	2.95
(3) 安全に実習ができた	全員	40	20	2	1	0	3.57	3.58
(4) 授業ごとに農場施設や設備の整理整頓を行った	全員	29	21	10	3	0	3.21	3.30
(5) 命の尊さ、心のふれあいの大切さを学ぶことができた	全員	33	22	6	2	0	3.37	3.42
(6) 収穫等を通して農業の魅力がわかった	全員	32	22	6	3	0	3.32	3.19
(7) 実習生産物を大切にすることができた	全員	37	20	3	3	0	3.44	3.16
(8) 本校の農場で「癒し」を感じるところがあった	全員	24	20	11	8	0	2.95	2.96
(9) 実習を通して地域のことを学習できた	全員	26	28	3	6	0	3.17	3.07
(10) 地域交流・ボランティアに積極的に参加できた	全員	26	19	10	8	0	3.00	2.70
(11) 産業社会と人間の体験学習や2・3年次の委託実習は充実していた	全員	31	22	7	3	0	3.29	3.30
(12) 農業の授業を通して農業の基本が身についた	農業	23	16	1	2	21	3.43	3.42
(13) 生産・加工・流通の一連の流れが理解できた	農業	14	13	10	3	23	2.95	3.39
(14) 「食育」に関する学習活動に意欲的に取り組むことができた	農業	19	13	3	4	24	3.21	3.21
(15) 自分で課題を見つけ意欲的にプロジェクト活動に取り組めた	農業	15	14	8	4	22	2.98	3.21
(16) 草花を活用した環境づくりができた	農業	20	10	6	4	23	3.15	3.15
(17) アンテナショップを活用することができた	農業	13	9	10	9	22	2.63	2.95
(18) 農業に関する資格を取得することができた	農業	15	5	5	13	25	2.58	2.11
(19) 介護における基礎的な内容を理解することができた	福祉	11	10	1	2	39	3.25	3.56
(20) 実技を通して介護技術を身につけることができた	福祉	10	10	2	3	38	3.08	3.63
(21) 福祉の授業を通してコミュニケーション能力を高めることができた	福祉	8	11	1	3	40	3.04	3.29
(22) 福祉の授業を通して、自主的に行動できるようになった。	福祉	8	10	4	1	40	3.09	3.28
(23) 福祉の授業を通して思いやりの心を学んだ	福祉	11	10	3	1	38	3.24	3.33
(24) 心のふれあいの大切さを理解することができた	福祉	11	9	4	1	38	3.20	3.24
(25) 介護福祉士国家試験合格を目指して意欲的に学習に取り組んだ	福祉	9	9	3	3	39	3.00	3.25
(26) 介護職員初任者研修やガイドヘルパーの講習に積極的に参加した	福祉	5	6	4	6	42	2.48	3.38
(27) 基礎を理解して応用問題を解くことができた	福祉	5	10	5	2	41	2.82	3.13
(28) 介護福祉士を目指すための授業環境を整えることができた	福祉	9	9	2	4	39	2.96	3.31
(29) 模擬試験の実施は適切で効果的である	福祉	7	5	5	4	42	2.71	3.25
(30) 施設実習を通してコミュニケーション能力を高めることができた	福祉	9	6	3	5	40	2.83	3.31
(31) 施設実習を通して進路について考える機会となった	福祉	7	6	4	6	40	2.61	3.25
(32) 日誌の記録・記述方法を身につけることができた	福祉	8	9	4	3	39	2.92	3.35
(33) 宿題や小テスト実施による家庭学習習慣が定着した	福祉	8	6	5	4	40	2.78	2.94
(34) 国家試験に向けて計画的に学習に取り組んだ	福祉	5	8	8	3	39	2.63	3.13
(35) 視聴覚教材を活用していた	福祉	6	10	4	4	39	2.75	3.25
(36) 放課後講習は適切で効果的である	3年福祉	4	0	0	0	0	4.00	2.75
(37) 未来のしんろ系列の授業を通して探究的な学習の基礎が身についた	未来	6	5	3	2	47	2.94	4.00
(38) 課題設定、情報収集、実験・検証、まとめ・表現の一連の流れが理解できた	未来	5	4	3	2	49	2.86	4.00
(39) 各授業の探究型学習に意欲的に取り組むことが出来た	未来	4	6	2	2	49	2.86	4.00
(40) 自分やチームで課題を発見し、意欲的にプロジェクト学習に取り組めた	未来	4	6	1	3	49	2.79	4.00
(41) 各普通教科の授業に関して自分で課題を持ち、取り組むことができた	未来	3	6	3	2	49	2.71	3.50
(42) ものを作成したり、生き物を育てる学習活動でも、何の目的で製作・飼育などを行っているかの理解が出来た	未来	5	5	2	3	48	2.80	4.00
(43) 各探究の学習と、各普通教科の授業が自分の進路とリンクしている実感がもてた	未来	4	4	3	3	49	2.64	4.00

5. 進 路 に つ い て

- (2) 計画的に進路活動を行った。
- (3) 進学・就職説明会や体験入学などに積極的に参加できた。
- (4) 総合的な学習（探究）の時間を活用した進路活動が展開されている。
- (5) 個人面談が進路を考えるきっかけとなった。
- (6) 進路活動を通して、自分の適性や性格を知ることができた。
- (7) 進路に関する情報を得るために意欲的に活動した。
- (8) 進路に関する掲示物が充実している。
- (9) 「面接指導カード」を用いて面接練習を行ったことは効果的であった。
- (10) 多くの先生が面接指導に協力してくれた。

	十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R5 平均	R4 平均
3年	16	2	0	0	0	3.89	3.27
全員	17	21	14	11	0	2.70	2.88
全員	24	25	9	5	0	3.08	3.12
全員	14	30	11	8	0	2.79	2.86
全員	16	29	11	7	0	2.86	2.89
全員	20	25	12	6	0	2.94	3.00
全員	25	22	10	6	0	3.05	3.00
3年	11	6	1	0	0	3.56	3.19
3年	16	2	0	0	0	3.89	3.60

6. い じ め 防 止 に つ い て

- (1) いじめに関するアンケート調査はいじめ防止に役立っている
- (2) 個別面談を通していじめ防止について考えることができた

	十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R5 平均	R4 平均
全員	27	18	10	3	5	3.19	2.94
全員	30	14	12	2	5	3.24	3.12

生徒記述 (原文ママ)

1年次 2年次 3年次

今年度の学校生活でできたこと (頑張ったこと)	
介コンで結果を出すためにチームと協力して今まで学んできたことを活かしてがんばった	進路 農業の実習
進路活動	バレーの時みんなで、協力して決勝まで行けたことが頑張った
検定取得のための放課後自習	挨拶
進路活動	
進路の決定	剣友会会長として剣友会をまとめて行事の進行を頑張ってきた
挨拶	剣友会やクラスの活動での前に立って人のことを考えること
自発的な活動	部活、学校行事
バレー、陸上	面接
実習	行事や全ての事に全力で楽しむ
しっかりと勉強した	進路活動
農業の実習を頑張った。	農業を頑張りました。
学校にちゃんと行ってる	農業の実習頑張った
勉強	実習
発表会	福祉で男子が1人で不安だったが何とか上手く馴染めることができた
牛乳パックをたたむ	先生の話聞いて生活することができた
安全に生活できた。	コミュニケーション
意見発表大会や酪農の夢コン	農業
模試などに向けた勉強	学校に行った
あまり休まず	オール赤点回避
集団行動	挨拶
テスト勉強、挨拶	・ 代議委員としてクラスをまとめること ・ 中間、期末考査の勉強 ・ 剣友会立候補及び信任を受けたこと ・ 正しい寮生活 etc...
今までより学習に取り組んでいる	部活とテストを頑張った。 挨拶。
勉強	できる限り頑張った
テスト勉強	言葉遣いを治すことと勉強
勉強を頑張りました	自分ができることやできないこともできるだけ頑張った。
技競で全国入賞	部活、バイト、勉強を両立できた 勉強は苦手だが、自主学習を頑張った。 数学など特定の科目が難しい場合は、先生に聞きに行った。
陸上	勉強、部活
剣淵高校に慣れることができた	テスト、学校祭
友達との関係作り	挨拶
福祉の勉強	
人間関係を良くするために努力した	

生徒記述 (原文ママ)

1年次 2年次 3年次

今年度の学校生活でできなかったこと（取り組めなかったこと）	
資格取得→もう少し取得したい資格があったのに取り組めなかった	資格取得
ボランティア活動	大量の資格取得
他学年との関わり	剣友会の活動スタイルの変更ができなかった
なし	剣友会をもう少しよくできたんじゃないかと思った
ゴミ拾い	たくさんの資格取得
とくになし	体調管理
特になし	国試勉強
自分から人に話しかけられなかった	自選の福祉のガイドが上手く出来なかった
言葉使い	ない
勉強	タイピングの技術向上
積極的に行動すること	後輩に慕われることができなかった
勉強	事業に集中することができて
しっかりと勉強すること	授業態度の良さ
勉強。	自分の進路決め
勉強面	積極的に学習出来なかった
テスト勉強	先生方への敬語
赤点を取ったこと	提出期間を守る
協力活動	敬語
授業態度、言葉遣い	・授業内での積極的な発表 ・日常的な学習活動
まだ学習時間などが足りないからもっと頑張る	移動教室の時に机をきれいにあまりできなかったこと。
体調管理	授業寝ないこと
資格の勉強	言葉遣いが悪かった
積極的に取り組むこと	テスト勉強が全然できなかった。
資格獲得	意見を出すこと。 学校祭の出し物(屋台や、ステージ発表)について意見の食い違い等が発生したため、来年は問題がないようにしたい。
何らかの大会で優勝できなかった	皆勤賞
落ちついて学校生活を送れなかった	ボランティア

生徒記述 (原文ママ)

1年次 2年次 3年次

剣淵高校をよりよくするためにどうしていきべきか。	
校則をきちんと生徒に認知させる	保健室の使い方を見直す
SNSでの発信を増やす	生徒のメンタル次第だと思う
みんな自分から話して行けるような自信を持って生活する	悩みをもっと吐き出せる場所があったらいい
地域学習増やす	誰も手を出した事のない新しい事をやる
設備を整える	地域との連携
合同体育を増やす	剣友会で意見を出す
外部活動	剣淵高校の魅力を広める
校則を見直す	学校を新しくする
一人一人の良くしようとする気持ち	差別をしないこと 差別されることが多いから
網戸をつける	網戸を設置する
頑張る	特にありません
網戸をつける	全生徒仲良くしていくこと
暖かくする。	特になし
会長として仲間とよく話し合い、それについて考える	授業中に叫ぶ奴を減らす
給食をもっと美味しく	明るい雰囲気を作る
わからない	剣淵高校ならではのメリットの掲示
先生、生徒の挨拶を大切にする	魅力を伝える
上から直していけば下も直していく	上下関係
みんながしっかりする	先輩との関係をもっとより良くする。
ない	もっと一人一人の意見を取り入れるべき。 先生が見ていないところで生徒同士の問題が起きていないか、ランダムで面談などを行うべき。 本当は意見があるけど、言えない空気を作らないこと。
SNSなどで剣淵高校がしていることをもっと他の人に知ってもらう	挨拶をもっとする
YouTubeを活用してもっと剣淵高校をアピールする、知ってもらう	

生徒記述（原文ママ）

1年次 2年次 3年次

その他	
地域交流ができる場をもっと増やせるようにしたいが、生徒1人だけが言ってもうまくいかないと思うので、剣友会として何か案を出し、それに対して実現できるように先生達と協力したらいいと思う。	

令和5年度 北海道剣淵高等学校の教育に関するアンケート 保護者集計

実施期間：令和5年12月～令和6年1月 冬休み期間中
 対象：全年次保護者 回答：33世帯 回収率：51.5%
 回答方法：4段階評価（4：十分 3：おおむね 2：不十分 1：まったく 空白：わからない）
 評価方法：4段階評価の数値を利用

1. お子様の学習について

- (1) 学習内容が身についている
- (2) 家庭学習の習慣が身についている
- (3) 自分の進路に関して計画的に目標を持って取り組んでいる

十分	おおむね	不十分	まったく	わからない 未回答	R5 平均	R4 平均
6	19	6	0	2	3.0	3.0
1	14	10	5	3	2.4	2.6
8	16	5	4	0	2.8	2.8

2. 本校の取り組みについて

- (1) 基礎基本の学力向上に力を入れている
- (2) 生徒への学習支援がなされている
- (3) 剣高だよりやホームページは学校活動を理解するのに有効である
- (4) 先生方は細やかな生活指導を行っている
- (5) 学校と家庭との連携が効果的になされている
- (6) 農業・福祉の専門教育が充実しており、子ども達の将来にとってとても有意義である
- (7) 委託実習は有意義である
- (8) 資格取得に関する指導が充実している
- (9) 学校行事などで、地域連携が盛んに行われ、それが教育活動により結果を与えている
- (10) 剣友会（生徒会・農業クラブ）活動が盛んである
- (11) 各部活動が意欲的に行われている
- (12) 職業説明会や講演会など1年次生から系統立てた進路指導が展開されている
- (13) 進路に関する情報の提供など進路指導が充実している
- (14) 学校の施設設備が適切に活用されている
- (15) 学校のいじめ防止に対する取り組みは適切に行われている
- (16) 創明寮の運営は適切に行われている（創明寮入寮者保護者のみ）

十分	おおむね	不十分	まったく	わからない 未回答	R5 平均	R4 平均
6	20	1	1	5	3.1	3.2
10	18	0	0	5	3.4	3.2
14	18	0	0	1	3.4	3.2
13	15	4	0	1	3.3	3.2
12	16	4	0	1	3.3	3.2
21	10	0	0	2	3.7	3.6
19	11	0	1	2	3.5	3.6
14	15	1	0	3	3.4	3.4
15	16	0	0	2	3.5	3.4
12	15	0	1	5	3.4	3.2
10	14	4	1	4	3.1	2.9
10	15	2	1	5	3.2	3.1
10	13	2	2	6	3.1	3.1
12	11	3	1	6	3.3	3.1
8	19	0	3	3	3.1	3.1
7	9	0	0	17	3.4	新規 項目

保護者記述（原文ママ）

1年次 2年次 3年次

(1) 学校は人の生き方について考えたり豊かな心を育んだりしていると思いますか。	
思う	思います
詳しくはわかりませんが、豊かな心は育まれていると思います。	これまでの生活では体験出来なかった体験をさせていただいてると思います
わからない	はい
思う	
豊かな心というのが、少し足りないと思います	はい
はい	人の生き方、豊かな心の育みについて具体的にどのような取り組みなのかわかりにくいです。
まだ子どもではあるものの、大人に近い高校生たち、失敗を知っている大人が答えを教えるとその子の人生では無くなる可能性(失敗、成功含め)や未来を伝えることが、その子の生き方や豊かな心を育めるのでは？大人の失敗の話は、その先その子に起こるかかわからないから。	そう思うが、その逆も人間関係で左右されると思う。
思います。	剣淵高校でさまざまなことを学ばせていただき感謝しています。先生の真剣な想いを感じ取りクラスの仲間を思いやり、自分を信じて最後まで何事もやりきる粘り強さを培わせて頂きました。ありがとうございます！
おもう	不十分
(2) これからの剣淵高校に期待することをお聞かせください。	
特にありません	大変だと思いますが、引き続き進路に対する指導宜しくお願いします
一部の部活だけでなく、活動しているすべての部活が盛んになるといいと思います。	剣淵高校でしか学べない事も多いと思うので 1人でも多くの生徒が卒業する時に剣淵高校に行って良かったと思える学校生活を送って欲しいです
少人数ならではの学年などを超えてみんなでイベントや授業など行えるところが良いと思いますので、これからもそういう取り組みが増えるといいと思います。	
豊かな心が育つ様に……個人の個性を良い方に向けて欲しいです	なし
これからも色々な経験して、社会に出てでも即戦力になる様な教育をしたいって欲しいです。	福祉にいますが、置戸高校と比べて申し訳ありませんが、あれ？最終介護福祉士合格するの？とちょっと心配するくらい勉強している姿を見てません。
みらいの進路はいい学科だと思います。入学当初に自分がどんな事をしたいかわからなくても、自分なりに見つけて実行していける！今後どうなっていくのか見守りたいと思います。	学校の取り組みは素晴らしいと思うが、詳しいことは子どもから聞くことしかできないのが現状だと思う。
農家の方を触発して頂けるような、作物をこれからも、作り続けて欲しいです。	生徒が増える事
部活が盛んになる	就職先や進路を沢山選べるような高校を期待します。
(3) その他、ご意見・ご要望・ご感想がありましたら、お書きください。	
特にありません	冬の寒さ対策をもう少し考えて頂きたいです。部屋の温度を上げる、パーカーやブランケットの使用を許可する、等。霜焼けしやすかったり、冷え性なので、生徒に合った対策をお願いしたいです。
良いところを伸ばし、未来に向かって生きていける力を身につけ、希望を持って日々を過ごして行けるように、お力添えをお願いしたいです。	学校の年間予定表の文字が小さすぎるので、フォントサイズ大きくして欲しいです。
最終、入学時、目的を持ってこの高校に進学しようと決めていたので、その気持ちを忘れず、1日1日を大切に過ごし、この高校で良かったと思って卒業してほしいです。	一部の先生は、そこに至った経緯を見ずに結果だけの判断をされますが、生徒たちは子どもでも大人としての対応をお願いしたいです。たくさんの生徒がいて大変だとは思いますが、生徒としてだけでなく、一個人としての対応を望みます。
先生方には大変お世話になっております。	本当にありがとうございました。
子供は楽しく学生生活を送っており学校や先生方には感謝しております。	剣淵高校に行って良かったです。
ありがとうございます！	
先生方には、色々進路について考えて頂き有り難く思ってます。	
三年になってから、貴重な宮城発表大会、介護コンテストで福井県と、すごい体験をしたとおもいます。卒業して介護の方にはいかないですが、多少は看護学校でも勉強してきたことがいかされる内容が沢山あるとおもいます。もしかしら、途中で挫折するかもしれないと心配はありますが、その後の進学校についても、娘からの話とかを、次の後輩たち、看護に進みたいがいれば、何かに役にたててもらえるように、進学しても本人と話とかしてもらえればとおもいます。	
(4) 【寮生の保護者のみ】寮に対してのご意見・ご要望がありましたら、お書きください。	
通販などで購入した物を置き配などで対応してもらるか、土日指定の配達であれば購入を許可していただきたいです	洗濯槽の掃除をお願いしたいです。
寮生活で学ぶ事が多く 楽しく過ごせてるようです。 いつもありがとうございます	ゴミの分別は個人々人がしっかりするべきだと思います。(特に他学年に迷惑をかけ
ありがとうございます	
最高の寮だね！と、いつも息子と言ってます。ありがとうございます！	1年次の時にも記入しましたが、閉寮の時、親が迎えに行くまで寮で待たせてもらいたいです。

令和5年度 学校評価

職員用集計

評価目標	評価項目	R 5	R 4	各評価項目についての意見
教育目標	1 自ら学ぶ意欲を育み積極的に行動する力を育てることができていたか	3. 1	3. 1	生徒1人ひとりが活躍する場面の多い高校です。あらゆる生活、行事場で、生徒に身につけさせたい能力を意識して生徒に関わるよう指導していきましょう。
	2 責任感を養い、互いに助け合う心を育てることができていたか	3. 1	3. 0	年次によって大きな差が。担任団会議等で共通の認識を持ち、生徒に下ろす必要性あり。
	3 心身を鍛え明るく豊かな人間性を育てることができていたか	3. 0	3. 2	部活動の存在がやはり大きいです。ここで培われる人間性は心身の成長に不可欠。 2年次生への指導を継続的に行っていきたいと考えている
	4 勤労を尊び、郷土の発展につくす態度を育てることができていたか	3. 3	3. 2	3 系列の学習が全てこの問いに対して成果を成せていたと思う。 授業内での地域連携を今後も続けていきたい。
	5 教育目標が各分掌の目標の基になり実践することができていたか	3. 4	3. 2	
教務	1 各教科・科目を中心とした「わかる授業」による学習意欲・基礎学力向上の促進ができていたか	3. 4	3. 0	促進はできた、が、数値的な結果は年次によるばらつきが見られる。 教務部として、促進する研修や提案があって素晴らしいと思っている。自分がわかる授業を提案できているかどうかを、教員は自己分析をして、スキルアップに繋げていきたい。
	2 授業規律の確立と学習習慣の定着ができていたか	2. 9	2. 7	今後、タブレットの持ち帰り制度を進めることが急務。 現2年次に関しては難しさを感じる 30分出席すればいいといった安易な考えで授業に遅れる生徒の対応について、何か良い方法がないか。 授業がうるさくて、成立していない部分もあるが、それは教員の力量によるものと思う。
	3 シラバスを用いて系列選択・科目選択等への活用ができていたか	3. 4	3. 4	シラバスに加え、Can Do リスト作成に来年度は取り組んでいきたいと思います。
	4 各観点を意識した評価問題を作成したか	3. 5	3. 3	
	5 各年次・分掌・教科との連携による時間割の弾力的な運用ができていたか	3. 8	3. 9	時間割作成、いつもありがとうございます。 時間割作成にあたり、柔軟な対応をありがとうございます
	6 週ごとの時間割作成による授業時数の確保と普通教科と専門教科の均衡は保持されていたか	3. 9	3. 8	
	7 資格取得状況と部活動大会結果の管理はできていたか	3. 8	3. 7	資格取得へのアプローチとバックアップ体制を強化したい。
	8 校内研修の精選と実態に即した研修テーマの検討ができていたか	3. 7	3. 5	行事等について合意形成を図るための研修が有意義だったと思います
	9 公開授業の実施及び合評会は活性化していたか	3. 6	3. 5	地域参観日の後に授業内容の話題を職員室で積極的にしていこうと思います
	10 会議・研修へ参加した際の資料の回覧・報告はできていたか	3. 8	3. 9	
	11 図書環境の整備と読書の推進はできていたか	3. 2	3. 2	図書購入にあたり、漫画は農業・福祉に関連する分野に限ると明確に生徒に周知すべきでした。一般図書購入については今後も生徒の学習意欲を高め視野を広げるような図書を選定していきたいです。 小西先生が来てくださり定期的に図書整理してくれていたように思います。 朝や昼休みに開放し、自由に利用させたい。
	12 委員会活動と連携した図書館の利用推進はできていたか	2. 9	3. 2	ICT機器が充実してきたからこそ、授業での図書室活用を促進させたいです
	13 視聴覚機器の整備と更新はできていたか	3. 5	3. 7	体育館の音響設備は特に早急に刷新していただきたいと思います。式歌や各担任の思い入れのある曲などが然るべきタイミングでかからないのが式としては致命的なように思います。 体育館の音響の改善を希望する
	14 情報処理機器の整備と管理はできていたか	3. 7	3. 9	情報管理委員会の先生、教務部長ありがとうございます
	15 剣高だよりの作成と地域への定期的な情報発信の継続ができていたか	3. 9	3. 9	
	16 中学校及び保護者に対しての学校理解の促進と入学者の確保ができていたか	3. 3	3. 8	思いのほか、伸び悩んでいる。R 6 入試の他校の状況と実践事例を見極めて対策が急務
	17 HP・ブログ内容の精選と定期的な更新ができていたか	3. 3	3. 4	Instagramの更新が遅れてしまうことが多かったです

生徒指導	1	教員の共通理解のもとで学校生活の規律を指導することができていたか	3.1	3.3	2年次の、規律を守ることや、制服の着用、掃除、悩みや精神的なこと等で欠席、保健室利用が多いこと等、教職員全体で取り組まなければならないと感じています。
	2	校外生活における規律遵守の指導を行っていたか	3.6	3.6	
	3	指導対象者の指導を計画的に行っていたか	3.6	3.9	指導対象者無し。指導に至らないようにするための未然の防止活動。
	4	多様な価値観を認めて行動できる生徒の育成ができていたか	3.4	3.3	
	5	教育相談、個別面談は充実していたか	3.7	3.7	入力のクラウド化は可能でしょうか？ 入力のクラウド化。 保健室の負担が大きい。スクールカウンセラー等外部機関の活用を積極的に進めたい。保健室の利用についても、緊急性がなければ相談は放課後に受け付けるなど、生徒にも再周知できると良いのではないかと思います。 各系列の先生方が細かに生徒を観察してくれ、助かりました
	6	PTA活動、地域交流を通じた生徒指導の充実を図れていたか	3.5	3.1	
	7	関係諸機関と連携した生徒指導の充実がはかれていたか	3.5	3.7	
進路指導	1	進路行事等の企画・実施と各関係機関との連携ができていたか	3.3	3.6	総合的な探求の時間等で、社会人としてのモラルやマナー、外部機関を活用してモデルを見せる（スーツの着方、挨拶の仕方、休みを取るときにどのように上司に伝えるか、家を借りる、引っ越すにはどれだけお金が必要か等）に立ち戻ってみてはどうかと思っています。
	2	進学説明会・就職促進会等への参加促進と効果的な事後指導の実施ができていたか	3.1	3.5	担任からだけでなく、進路指導部からの継続的な声掛けが必要であると感じた。 1年次から積極的に案内して、参加しても良いと思います。
	3	進路に関する資料の提示を通して進路意識の高揚をはかっていたか	3.3	3.5	
	4	進路を見据えた指導及び効果的な進路指導の実施ができていたか	3.3	3.5	系列選択の場面で進路指導部として関わる機会が少なかった。
	5	担任と連携した進路指導の展開ができていたか	3.6	3.5	3年次は、8/31までには履歴書を必ず書かせる（志望動機以外のところ）等、スケジュールリングしたほうが良いと考えます。必要であれば、学年団と進路指導部で、少人数指導で求人票検索、読み方、必要な手続き、履歴書の下書き点検等、計画的に行わないと、学校祭と重なる時期が今から怖いです。 進路指導に関して、担任と進路指導部で役割分担を明確化しておくべきでした→1年の見通しを持つ
	6	生徒情報の共有化ができていたか	3.6	3.4	
	7	生徒が進路を見据え、目標を持った学校生活を送るための支援ができていたか	3.2	3.3	挨拶、服装頭髪、言葉遣い、成績、環境整備等、社会人としての自立について、もっと進路指導主体でやっていくとよいのかも知れない。外部機関を活用して、モデルを見せると良いと考えます。
	8	個々に応じた基礎学力の定着に向け、教科担との連携や模試の実施を行ったか	3.1	3.4	模試に対して意欲的に取り組ませることができなかった。 1年次から、1回は必ず受けさせて、その進路を実現するには何が必要か、数字で理解させることも必要なのではと考えます。
	10	卒業生の状況確認と情報収集を行うことができたか	3.5	3.3	

農 場 部	1	新教育課程実施年度にあたり、新しく導入された科目の研修を深め、特色ある農業教育の推進に努めていたか	3.8	3.5	
	2	科目間・部門間の連携の充実を図り、フードシステムの確立に努めていたか	3.9	3.7	
	3	日本農業技術検定3級合格100%を目指し、各科目内での継続した学習指導を実施できていたか	3.0	3.4	授業内での計画的な学習を展開する必要があると感じた。合格者の詳細はわからない
	4	専門学習・委託実習を通して、農業経営者及び関連する産業人としての知識・技術の向上に努めていたか	3.8	3.8	
	5	計画的な事前指導、事後指導を実施し、充実した実習となるよう努めていたか	3.6	3.7	
	6	実習先との連携・情報共有を図り、円滑な実習展開に努めていたか	3.6	3.9	
	7	プロジェクト計画段階から、発表時の分野を意識した取り組みを行い、記録の充実を図れていたか	3.4	3.1	事前の計画をもっとしっかり行うようにしていきたい。
	8	大学・関係機関などとの連携を積極的に行い、地域に根ざした専門学習となるよう充実を図れていたか	3.8	3.4	
	9	各分会での活動状況の共有を図り、全体が充実した活動になるよう努めていたか	3.3	3.3	
	10	水稲部門では、特別栽培を継続し、付加価値を高める栽培方法を実践できていたか	3.6	3.8	
	11	畑作では、新たな作物を導入し、地域で栽培可能かを検討できたか	3.6	3.6	
	12	野菜部門では、安定生産を努めるとともに、冬期間中の栽培を実践できたか	3.5	3.7	
	13	加工部門では、定期的な製造に努め、新たな商品の開発を模索できたか	3.4	3.7	
	14	草花部門では、環境負荷低減の取り組みを継続しながら、地域環境作りに貢献できる花作りを行えたか	3.5	3.6	インターハイの協力、お疲れ様でした。
	15	定期的に販売会を実施するとともに、地域のイベントに積極的に参加し、販売実習の機会確保と生産物収入の増加（目標450万円）を達成できたか	3.9	3.9	目標金額に達したかどうかはわからない
	16	農場内の環境整備・整理整頓に努めるとともに、掲示教育にも力を入れ、開かれた学校農場となっていたか	3.8	3.9	
	17	実習における安全には十分に配慮し、事故が起らないよう指導に努めることができていたか	3.8	3.7	
	18	地域の先進農家を手本とした、担い手育成・営農学習指導の実践に努めることができたか	3.5	3.7	
	19	地域の販売会などに積極的に参加し、地域に開かれた学校の推進に努めることができたか	3.8	4.0	
	20	農業を活用したヒューマンサービスについての実践力を育て、地域社会の発展に努めることができたか	3.6	3.7	

福祉部	1	自己理解を深め、介護福祉士に必要な円滑な対人関係を図るためコミュニケーション能力を育てることができたか	3.0	3.5	自己理解が乏しい生徒も多い。外部機関や活用出来そうなコミュニケーションプログラムを探してみたい。
	2	地域や社会のニーズに対応した社会福祉制度の基本的な理解の定着を図ることができていたか	2.7	3.4	
	3	利用者の尊厳、自立支援を重視した介護の実践力と必要な専門知識の習得をはかれたか	3.6	3.6	教室掲示など活用して、分かりやすく学べる工夫をもっとしていきたい。社会福祉制度の基本的な理解を生徒の生活実態に合わせて教える方法を増やそうと思います
	4	対外活動や地域交流への積極的な参加を促し、自ら学び、行動できる態度を育てることができたか	3.6	3.5	社協や地域ボランティア、サロン等との連携を進めていきたい。
	5	資格取得のために必要な介護技術の向上を図れたか	3.9	3.6	
	6	基本的介護理論を理解し、個に対応した実践的な能力を育てることができたか	3.4	3.5	
	7	実習先との連携・情報共有を図り、実習内容の充実を図ることができたか	3.2	3.5	情報共有が足りない。また、特に3年次の実習内容について、整理し、連携を図っていきたい。
	8	社会生活に必要なマナーを学び、将来の職業観を養うことができたか	2.9	3.3	マナー等に特化した授業も取り入れていく。日頃からの指導の継続。
	9	介護福祉士国家試験合格に向けて、意欲的に取り組ませることができたか	3.4	3.4	生徒の意識が低いように思う。1年次から自覚を持たせて、継続させたい。指導しても改善が見られない、促しても本人が自分から取り組むことができない生徒の、国家試験受験資格の取得について、方向性を検討する。
	10	福祉教科の情報共有、福祉教育や授業内容の検討を行うことができたか	3.6	3.9	
	11	資格取得に対応できる適切な養成校の運営を行うことができたか	3.3	3.5	福祉の法定時数の関連など課題は多いが、農業や未来と分離して考えていく必要はあるかもしれないし、方向性として既定路線でいいのか？という部分を町の議会の方とも協議できる機会があれば良いと思う。指導調査では過去に選った資料の提示が必要となる。日頃から確認、意識していきたい。
未来のしんろ部	1	未来のしんろ系列におけるインターンシップの総合的・包括的な仕組みを構築できたか	3.9	3.9	
	2	探究型授業や各種授業、外部との連携授業の中で内発的動機付けを生徒に促せたか	3.9	3.6	
	3	生徒の内的な変容を週一回のミーティングなどで把握し、内発的動機付けのコンセプトの模索ができたか	2.4	2.8	週1回と明記せず、クラウドでの共有など弾力的にいきませんか。なかなか全体での週一ミーティングの時間を取ることが出来なかった。（特定の部員への授業の集中）
	4	探究的な授業を構築する上で情報収集や各種研修への参加ができたか	3.5	3.3	
	5	部員の授業研鑽や意見交換・交流の機会を設定できたか	3.4	3.3	なかなか全体での時間を取ることが出来なかった。（特定の部員への授業の集中）
	6	生徒の主体性・探究性を発揮させるため、引き出すための指導の模索やパターン化が出来たか	3.3	3.1	
	7	定期的な情報発信（通信物）ができたか	2.7	2.8	これも弾力的な取り組みで良いと思います。ポスター発表の掲示がこれに置き換わっても良いと思います。できなかったがInstagramの稼働に努めたInstagramの活用が効果的でした
	8	町との連携、外部機関との連携学習により生徒の学習の多角的な理解のサポートができたか	3.7	3.8	
	9	一般入試対策、一般常識問題等への対応力を向上させる方策がとれたか	2.6	2.6	もはや大手の大学ですら指定校推薦を拡充しています。探究力の向上による進学対策が本校の強み？現状、探究的な学習への時間を確保することのほうを重要視しているので、一般入試対策は正直手薄な部分がある。生徒の進路ニーズに応じた授業内容の引き出しを増やしておきたいです
	10	総合型選抜や指定校の拡大を図ることができたか	3.7	2.4	指定校については一件ではあるが、間口を広げてもらうことが出来た進路指導部との連携により、指定校推薦の増枠をしていただき、生徒の進路実現につながりました。ありがとうございました

寮務部	1	日課表に基づいた規則正しい生活習慣の確立を促すことができたか	2.8	3.2	継続した指導が必要。
	2	寮長・副寮長を中心とした役割分担や、各自の係活動の責任を持たせるとともに活性化を促すことができたか	3.6	3.1	
	3	食事・帰省・外出・外泊等の諸手続きに責任と自覚を持たせることができたか	3.1	3.2	
	4	個に応じた指導を強化し、基本的な生活習慣の態度を育成させることができたか	2.9	3.2	
	5	生活相談の実施や定期的な面談（自己目標）を通して自己理解・他者理解を深めることができたか	2.9	3.0	
	6	各種行事運営による人間関係の構築を促すことができたか	3.6	3.6	
	7	定期的に寮生活の状況を教職員に伝え、情報共有を図ることができていたか	3.7	3.8	
	8	各部屋のこまめな清掃・点検を行い、よりよい生活環境を整えることができたか	2.3	2.8	片付けられない生徒へのアプローチ 町の施設でもあるため、連携して、退寮勧告してもよいのではないだろうか。
	9	寮の設備や整理整頓の徹底を図り、安らぎの場を確保することができたか	2.9	3.3	
	10	食事の充実や消耗品・備品の補充等を適切に行うことができていたか	3.8	3.7	
	11	避難訓練等を通して、非常時の心構えを養うとともに、日頃からの安全な寮生活の確保に努めることができたか	3.8	4.0	
	12	定期的に寮通信を発行と保護者への郵送を行い、寮生活の様子をブログなどで情報発信することができたか	2.5	3.1	剣高だよりの活用。
	13	学習意欲の向上を促す指導・助言に努めることができたか	2.6	3.1	学習時間が自由時間になったことでなかなか難しいと思うが何かしらの方向性づけのようなものは必要であると感じた（主体的に学習する生徒が少ないため、例えば〇月の〇週目は自分に合った勉強方法を見つけるための時間とする、等） 30分でもいいので、食堂に集まってでもいいので、何かに集中する時間を取ってはどうでしょうか。宿題、読書など、ノースマホの実施。
	14	学習課題の設定による、学習習慣の確立を目指すことができたか	2.0	3.1	今年度、学習課題は実施していない。 設問として、ふさわしいものでなかった。
	15	考査期間中の学習環境を整備することができたか	2.6	3.3	試験期間のデイルームでのゲーム禁止などの共有事項を生徒と共有することが大切だと感じた。
剣友会	1	年次や部活動の集団活動を通して、自己実現に向かって人生を切り拓く力を身につけることができたか	3.4	3.4	
	2	各種大会等への「挑戦する心」を育て、互いに協力することから、生徒に達成感を体験させることができたか	3.6	3.3	
	3	農業クラブ活動を通し、クラブ員個々に問題解決能力を身につけさせることができたか	3.3	2.9	
	4	活動を通して、所属感や連帯感を高め、生徒一人ひとりが個性に応じた役割を見つけさせることができたか	3.4	3.4	
	5	三大農ク行事の指導を充実させ、年次間のつながりを通して、自己表現力やコミュニケーション能力を高めさせることができたか	3.2	3.4	意見発表の指導について、どこまで教員が指導するのかについて、ある程度示す必要があると思います。また、生徒は、前で話したくないから短くした、ネットから引っ張った等言っております。良い方法はないか、考えたいです。
	6	外部との交流、連携を通して他者理解に努め、望ましい人間関係の形成に努めることができたか	3.4	3.6	
	7	学校行事の計画や運営に参加させることで、生徒の自主性を養い、生徒相互の連帯感を高めさせることができたか	3.6	3.4	
	8	各行事の目的を達成するため事前指導を充実させ、士気の向上を図ることができたか	3.3	3.1	
	9	専門委員会の活動内容を精選し、充実した取り組みを実践することができたか	3.1	3.1	
	10	部活動を活性化し、加入率をあげることができた（新設）	2.8	2.9	
	11	剣友会予算の適正な執行により環境を整備することができた	3.7	3.6	

保健安全	1	健康診断前後の措置が円滑に行われているか	3.6	3.8	
	2	救急体制が確立されているか	3.5	3.7	
	3	校舎内外は清潔に保たれているか	3.3	3.5	
	4	体育的行事の際の健康チェック等安全確保に配慮があるか	3.8	3.7	
学級 年次 経営	1	生徒同士、教師生徒間など円滑な学級・年次運営が行われているか	3.0	3.3	2年次は課題が多いです。小さなことからでいいので、やるべきことはやる、ルールは守るなど、手立てを取る必要があると思います。
	2	生徒についての情報が適切に共有されているか	3.4	3.5	情報共有の教科を図る必要がある。
	3	HR運営について全教職員の共通理解のもと協力体制ができていますか	2.9	3.4	担任からHRの運営方針や行事の目的・目標を教職員に発信し、一貫した指導を行う環境を整えるべきでした 二年次の学級運営について、学年の方針を全体に提供し協力を求める必要がある。科目担での対応がバラバラになっており、限界を感じている。
家庭 地域との 連携	1	目的が会員に理解され活発に活動がなされ、保護者、教職員が意欲的に参加されているか	3.3	3.5	
	2	協力体制は良好だったか	3.6	3.5	
	3	地域行事に積極的に参加しているか	3.4	3.4	
	4	学校と地域や関係機関との連携がうまく図られているか	3.4	3.6	
いじめ 対策	1	いじめの予防 学業指導の充実	3.4	3.7	
	2	いじめの予防 特別活動、道徳教育の充実	3.5	3.5	
	3	いじめの予防 教育相談の充実	3.6	3.7	
	4	いじめの予防 人権教育の充実	3.4	3.5	
	5	いじめの予防 情報教育の充実	3.6	3.6	
	6	いじめの予防 保護者・地域との連携	3.5	3.5	
	7	いじめの予防 居場所づくり、絆づくり	3.4	3.5	
	8	いじめの早期発見 いじめ発見	3.6	3.6	
	9	いじめの早期発見 「いじめられている生徒」と「いじめている生徒」のサインの察知	3.6	3.6	
	10	いじめの早期発見 相談体制の整備	3.5	3.6	
	11	いじめの早期発見 定期的調査の実施	3.5	3.6	
	12	いじめの早期発見 情報共有、対応策の策定	3.5	3.5	
	13	いじめへの対応 「いじめられている生徒」への対応	3.5	3.7	
	14	いじめへの対応 「いじめている生徒」への対応	3.5	3.6	
	15	いじめへの対応 関係集団への対応	3.5	3.6	
	16	いじめへの対応 「いじめられている生徒」の保護者に対して	3.4	3.5	

いじめ対策	17	いじめへの対応 「いじめている生徒」の保護者に対して	3.4	3.6	
	18	いじめへの対応 保護者同士が対立する場合など教員が間に入って関係調整	3.3	3.6	そのような事案はなかった
	19	教育委員会との連携	3.2	3.6	日頃から良好である
	20	警察との連携	3.5	3.5	
	21	福祉関係機関との連携	3.2	3.5	
	22	医療機関との連携	3.4	3.5	
	23	ネットいじめの予防 保護者への啓発	3.5	3.5	
	24	ネットいじめの予防 情報教育の充実	3.6	3.6	
	25	ネットいじめの予防 ネット社会についての講話（防犯）の実施	3.5	3.7	
	26	ネットいじめへの対処 ネットいじめの把握	3.5	3.6	
	27	ネットいじめへの対処 不当な書き込みへの対処	3.5	3.5	

上記のいずれにも該当しない項目において意見があればお書きください。

クオリティが多少低くてもInstagramなどの更新頻度をあげることや、投稿にハッシュタグをつけること、Instagramのアカウントのプロフィール写真などを設定するなどメディア戦略に振っていったほうがいいのではないか（生徒募集）と感じる。

SNSを活用した情報発信について、南富良野高校の事例で複数のSNSを活用して幅広い人に情報発信をするやり方や、幌加内高校のX（旧Twitter）の活用で話題となる事例を学んだので、これから参考にして剣淵高校に合った方法を模索し、より良い情報発信の形を構築出来たらと思いました

実施期間：令和6年1月30日（月）～2月20日（火）

配布対象：学校運営協議会委員 10名

回答方法：4段階評価

（4：十分 3：おおむね 2：不十分 1：まったく 空白：わからない）

最も多い回答は濃い網掛けとなっている

1 学校教育目標について

4 3 2 1 無回答 平均

以下の本校教育目標が生徒の実態や保護者、地域の願いを踏まえたものとなっていると思いますか。

3	7	0	0	0	3.30
---	---	---	---	---	------

- 1 自ら学ぶ意欲を育み積極的に行動する力を育てる
- 2 責任感を養い、互いに助け合う心を育てる
- 3 心身を鍛え明るく豊かな人間性を育てる
- 4 勤労を尊び、郷土の発展につくす態度を育てる

2 本校の取り組みについて

4 3 2 1 無回答 平均

(1)	総合学科として多様な教育課程・授業が準備されている。	3	5	2	0	0	3.10
(2)	農業、福祉の専門教育が充実しており、子ども達の将来にとってとても有意義である	4	6	0	0	0	3.40
(3)	学校行事などで、地域連携が盛んに行われ、それが教育活動により結果を与えている	4	5	0	0	0	3.44
(4)	生徒会・農業クラブ活動が盛んであり、生徒が主体的に取り組んでいる	3	6	0	0	0	3.33
(5)	交通安全指導、性に関する教室、薬物乱用防止教室等保健安全指導が適切に行われている	4	4	1	0	0	3.33
(6)	部活動は充実している	3	5	1	0	0	3.22
(7)	資格取得に関する指導が充実している	5	4	0	0	0	3.56
(8)	2年次生、3年次生での委託実習は有意義である	6	3	0	0	0	3.67
(9)	原付バイクの免許取得許可は今後も継続させるべきである	4	4	1	0	0	3.33
(10)	先生方は一人ひとりに対応した細やかな生活指導を行っている	4	5	0	0	0	3.44
(11)	学校と家庭との連携が十分に効果的になされている	1	7	0	0	0	3.13
(12)	「剣高だより」やホームページは学校活動を理解するのに有効である	3	7	0	0	0	3.30
(13)	授業評価を通して、授業での教え方の工夫や授業改善が行われている。	3	6	0	0	0	3.33
(14)	学校の施設設備が充実している	3	5	1	0	0	3.22
(15)	職業説明会や講演会など1年次生から系統立てた進路指導が展開されている	3	5	1	0	0	3.22

(16) 基礎基本の学力向上に力を入れている

2	5	1	0	0	3.13
3	5	1	0	0	3.22

(17) 進路に関する情報の提供など進路指導が充実している

3 記述欄

(1) 学校は人の生き方について考えたり豊かな心を育んだりしていると思いますか。

- ・進路学習やインターンシップを通して、自分の生き方について考えることができていると思います。
- ・はい 生徒も教師もだと思います。
- ・思う。
- ・誰もが一人で生きていけませんので、他人(友達や先輩、後輩、先生たちを含む大人)との関わりを学ぶ場所であると思います。
- ・思います。
- ・そのきっかけになるのが学校だと思います
- ・思います。
- ・十分出来てと思う。

(2) 生徒募集について、ご意見をお聞かせください

- ・生徒募集については、たいへん苦勞されていると感じています。資格取得も含めて、卒業時にはその道を極めることができているなど、何かに特化した学校だと生徒も目的を持って入学できるのではないのでしょうか。
- ・少子化のため、生徒募集は大変です。
- ・各中学校への説明会は、もとより町のホームページにも、検索をかけずに軽い紹介を載せてリンクを貼って置くとか。何かの大会で成績を出せば、庁舎の目立つ所で紹介させる。道の駅、絵本の館にも、パンフレットなどを置いて見たらどうでしょう
- ・いろんな地域に出向き剣淵高校をアピール出来る何かがあれば良いのでは
- ・学校便りやHPを拝見することはありますが、それ以外のSNSでの発信は知りませんでした。生徒が主体になって剣高の魅力を発信するのはいかがでしょう。SNSのルールも理解してUPする祭には先生方のチェックを入れるとか…自称YouTuberもいるようなので、取り組んでもらえるかも(町全体にもアピールしアクセス数が増えたらやる気も起ころのでは?)
- ・道外も視野に入れ募集をかけると良いと感じます。
- ・だんだんと子供の絶対数が減ってきているので、難しいとは思いますが、時代に即したやり方で頑張っで欲しいです。
- ・生徒(親)が何を求めているのかを知り、多様性のチャンネルを用意しておく
- ・剣淵町の高校として福祉と農業の人材を育て町で暮らし、町で働く流れを構築することが必要と考えます。例えば、町主体の奨学金制度を作り、学生と保護者の経済的支援を行いつつ、卒業後に町内の農業関係企業や福祉事業所に就職し、一定期間在職すると返還を免除するといった仕組みがあると良い。
- ・十分出来てと思います。

(3) その他、ご意見・ご感想がありましたら、お書き下さい。

- ・地元出身の生徒を少しでも増やす努力を。剣淵町は農業中心の町なので、OBの方もたくさん居住しているので、知恵を出し合って魅力ある高校を作ってもらいたい。
- ・いつも中学生がお世話になっております。中高連携の取組は中学校にとって大変有り難い取組です。今後どうぞよろしくお願いいたします。
- ・剣淵町での就職が少ないのが残念です。受け皿がないのが現状ですが、環境作り(町が主体ですが)と定着が必要だと思います。
- ・剣淵高校はとても良い学校だと思います。これからも地域とのつながりをたくさん持って、地域に根ざした学校でいてほしいです。
- ・SDGsの取り組みは生徒にも教員にとっても素晴らしい取り組みだと思います。良い結果に結びつき、剣淵町が社会に誇れる形に発展することを期待しています。
- ・特になし